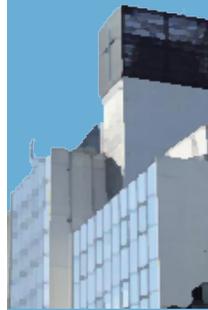


Ochanomizu Bible Institute
OBI

お茶の水聖書学院

NEWS



〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-1
OCCビル2F
TEL 03-3296-1005
FAX 03-3296-4641
Email: office@obi-net.com
Web: /www.obi-net.com
お茶の水聖書学院
お茶の水聖書学院後援会・同窓会

「すべての人のために死んだ」



教務主任
福井誠

「私たちはこう考えました。一人の人がすべての人のために死んだ以上、全ての人が死んだのである。」(コリント人への手紙第二

5・14)

パウロは、コリントに宛ててエペソから4ないし5つの手紙を書いたとされていますが、今日私たちが読むことができるのは、二番目に書かれたと言われるコリント人への手紙第一と、おそらく最後に書かれたであろうコリント人への手紙第二のみです。しかしこれら二つの手紙を読むだけでも、パ

ウロ自身が、コリントの教会で、いかに困難な立ち位置にあったかがわかります。ですから、コリント人への手紙第二の前半、7章までは、パウロの宣教がいかに純粋なものであったかを、繰り返し弁明しているのです。そのような、かなりコリントの教会に特有な事情に沿って書かれた手紙の中に、キリスト者としていかに宣教的な働き人であるかを教えられるのが5章14節の一節です。パウロは、「一人の人がすべての人のために死んだ」と語ります。つまり、キリストは、自分のみならず、すべての人のために死んでくださった、その認識に注目しましょう。

キリストの選びの器として立てられ、キリストのために働くことを許される特別な荣誉に与ったのです。パウロはその身に深い神のあわれみを誰よりも深く味わった人でした。しかしパウロの宣教の原動力は、自分のみならず「すべての人のために死んだ」という認識にあったと言えるでしょう。神が裁きを見過ごされたのは自分だけではない。また神が使命を与えてくださったのは自分だけではない。すべての人のためである、と。

お茶の水聖書学院の学びが、このキリストの深く広い万人への愛に深く捕らえられ、ただ私は救われた、私は慰められたという思いを越えた、全ての人が同じ恵みに与っており、招かれているという認識を深めるものとなり、教会の宣教を推し進めることに役立つと欲しいと願っております。

第25回卒業式

礼拝の通訳者のような 奏楽者を夢見て



教会音楽科
総合コース卒業
川端聡子

主のあわれみにより、卒業式を迎えられた恵みを心より感謝致します。

仕事を終え、慌ただしく授業にかけ込むこともしばしばありました。デイポジションの時間、詩篇の学びは心を整え、静まる時となりました。全ての授業、オルガン、声楽、聖歌隊指導法では技術を学ぶだけでなく、何事も信仰をもって励むことを教わりました。

声楽を教えてくださいました。藤かおる先生との悲しいお別れもありました。かおる先生は重い病にもかかわらず、いつも明るく、

最後まで笑顔で職務を全うされました。

初心者の私に背伸びをしないで讚美をささげることをお願いして下さった近藤はるみ先生、遠藤かおる先生の代行で声楽を教えてくださいました植木朋子先生、発表会の讚美曲に自信がなくなり曲変更を相談した時、「このままで行きましよう。」と背中を押してくださいました品田直美先生、各国の讚美歌を弾いて下さり、講義してくださいました内藤真奈先生、そして三年間を通して愛と忍耐を持って多くのことを教えてくださいました斉藤とし子先生に、言葉では言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。

また、祈り、励ましてくださった藤原導夫先生、福井誠先生、学院生の皆様、発表会やコンサートの際に手伝ってくださいました聖書科の皆様、謝恩会等お手配くださいました卒業生・後援会の皆様、いつも見えないところで働いてくださっている縁の下の力持ち、事務の小野沢恵子様、本当にありがと

うございました。

奏楽者は礼拝の通訳者と聞いたことがあります。少し意味がわかってきたように思います。そんな奏楽者になれることを夢見て、これからも主を崇め、聖霊に導かれて、会衆讚美のお手伝いができることを願っています。



2018年3月24日
卒業式・オルガン奉献式

心の奥から わき出る喜び



教会音楽科
総合コース卒業
田中美穂

私がOBIの学びの中で最も心に残ったことは、「天国には何も持っていけません。」「賛美だけは持っていけます。」という藤原学院長のお言葉の体感です。

まず、先生方が身を呈して教えてくださいださる授業の中で、賛美の歴史を通して、歌われるみ言葉を通して、楽譜を通して、そこに現わされている神様のすばらしさを学ばせて頂きました。そして、教会奏楽の中で、兄弟姉妹と共に捧げる賛美を通して、自らがどれ程くださった心にある時も、不思議と心の奥からわき出る喜びと祝福に与らせて頂きました。

これからも、この学びを通して与えて頂いた大切な賜物を精一杯磨き、神様に用いて頂きたいです。そしていつの日か、「よくやった、よい忠実な僕だ。」と神様に喜んで頂けるよう日々を全うさせて頂きたいです。

教師紹介

主の不思議な 導きの中で



教会音楽科
教師
品田直美

一昨年8月15日、突然主人を天に送り、自分と家族の行く先が見えない日々を過ごしました。しかし主の恵みはいつも充分で、徐々に心もからだも回復しつつありました。

その中で、将来の道を祈るようになりました。そのような頃、遠藤かおる先生が天に帰られ、しばらくして教師の一人、斎藤とし子先生が「かおる先生の後任として教えていただけないだろうか」と声をかけて下さいました。かおる先生とは、大学時

代からの友人で、お見舞いに行く毎にOBIの話しを伺ってはいましたが、余りにも畏れ多いことでしたので、「祈らせて下さい」と先ずは答えさせて頂きました。

その後、祈る日々でしたが、面談の朝、後任ということの重さに押し潰されそうになり、やはり私には無理です、という思いの中で聖書を開きました。その時、その日の箇所であった詩篇130篇7節の「主を待て」という言葉が迫り、自分の力で行うのではなく、主が成して下さることに任せれば良いという深い平安を頂き、主に全てを委ねることが出来ました。その後、主は扉を開けて下さり、昨年10月よりOBIで教えることになりました。

重責に心の引き締まる思いですが、主の助けを頂きながら与えられた奉仕を行わせて頂きたいと願います。どうぞ宜しくお願い致します。

特別公開講座のご案内

「アジア諸国の教会史_日本編」

- ・6月21日「これからの日本に求められる神学と思想」
 - ・6月28日「これからの日本に求められる教会の実践」
- 18:30-20:00 山口陽一師(東京キリスト教大学学長)

「考古学から学ぶ聖書の歴史と地理」

- ・6月19日、26日「エラの谷の二つの遺丘と聖書」
 - ・9月11日「テル・ラキシュの発掘と聖書」
- 火曜日 15:30-17:00 下村茂師/中川信嗣師

「サマー・スクーリング」

- ～聖書の世界に生きた人々から学ぶ～
- ・7月2(月)-3日(火)堀肇師(お茶の水聖書学院副院長) / 市川総合クリエイションセンター

「アジア諸国の教会史_アジア編」

- ～他宗教の理解と宣教的対話の可能性を求めて～
- ・2019年1月10日、17日、24日、31日、2月7日
- 木曜日 18:30-20:00 柳沢美登里師、石井田直二師
大和昌平師、宮川和彦師

学窓トピックス

●「横田早紀江さんを励ます歌と祈りの音楽会」

去る1月19日(金)正午より、聖路加国際病院トイスラー記念ホールにて、「横田早紀江さんを励ます歌と祈りの音楽会」(山崎淑子氏主催)が開催されました。様々なジャンル、立場の音楽家たちがそれぞれの思いを込めて演奏しましたが、その会において、教会音楽科教師3名を含む、学院生とその関係者14名がOBI有志による合唱団として初めて外部奉仕をさせていただきました。

主を讃えるとともに、北朝鮮拉致問題の解決と関係者の方々への慰めや励まし祈りを込めて捧げられた、素晴らしい奉仕の機会を心から感謝いたします。

●教会音楽科学年末発表会

2月17日恒例の学年末発表会が開催されました。参加者50名。

詳しくはチラシをご覧ください。

学院生の日頃の成果が披露され、大変祝された時となりました。

●卒業式

第25回OBI卒業式が3月24日、執り行われました。参加者60名、今年は、教会音楽科の川端聡子姉（日本福音キリスト教会連合、ぶどうの樹キリスト教会）、田中美穂姉（日本福音自由教会協議会、浦和福音自由教会）の二名を送り出すことができました。

●オルガン奉献式 3月24日、

オルガン奉献式が執り行われました。玉の肌石鹼会長三木晴雄氏から、お茶の水クリスチャンセンターチャペルへ寄贈があり、OBIとしてもオルガンを用いた新たなミニストーリーを進める機会が与えられつつあります。

●入学式

2018年4月2日（月）、OCC416号室にて、聖書科4名、教会音楽科4名の入学式が執り行われました。参加者40名、新入生のおき学びが導かれますようお祈りください。

●聖地を巡る旅

イスラエル海外研修旅行 2019年2月予定。

企画参加型の研修旅行となりますので、2018年7月より、興味のある方々が集まり、数回学習会を開き準備をしてまいります。詳しくは教務（福井誠）までお問い合わせください。

教会音楽デー

7月7日（土）13時～15時30分
416号室にて、教会音楽デーを開催いたします。

講師は、遠藤勝信師（東京女子大学教授）、テーマは、「みことばの賛美に生かされて」です。受講料2千円（詳細はチラシをご覧ください）。

ご献金者名

（五十音順）

（2017年12月7日）

2018年3月31日

皆様の尊いご献金を心より感謝申し上げます。

安藤谷子 安藤良一

安佛理恵

阿久津千枝子

飯島多稼夫

飯島勅 石井由紀

井上春代

石井江理子

猪狩多佳子

伊地智恵子

上田留美子

植木朋子 内田光子

奥津晃・榮子

落合秀美

小澤紘一・ナオミ

春日一海 柏俣朝子

北城恪太郎

鬼京由紀子

國松裕子 慶徳正好

小林直子 杉山礼子

関和喜子 仙波昌代

高橋和子 田村雅志

田中美恵 田中恵子

田中甲子郎

戸川偕生 中村良子

中平悦子 永澤良子

西口修八 芳賀功

長谷川理恵

萩原滋 芳賀富子

日名富子 福井ちよ

細野正道 丸山幹夫

真鍋雅美 松田智子

三井裕幸

森井あずさ

山田由美子

山本しづか

山本史子 吉野俊子

吉村瑠美子

林榮建・沙織

脇坂勇

市川北バプテスト教会

宇都宮聖書バプテスト教会

お茶の水聖書学院後援会・同窓会

学院生会

荻窪栄光教会

久遠基督教会

小平聖書キリスト教会

新松戸キリスト教会

中山キリスト教会

日本同盟基督教団古河教会

練馬神の教会

山崎製パン株式会社飯島延浩

百合ヶ丘バプテスト教会